

## 平成21年11月期 第3四半期決算短信

平成21年10月9日

上場会社名 日医工株式会社

上場取引所 大名

コード番号 4541 URL <http://www.nichiiko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 友一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼財務部長 (氏名) 赤根 賢治

四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日

TEL 076-432-2121

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年11月期第3四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第3四半期	40,164	31.8	4,681	12.3	4,645	3.9	2,659	2.6
20年11月期第3四半期	30,480	27.1	4,168	27.7	4,470	26.3	2,592	34.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第3四半期	86.22	86.14
20年11月期第3四半期	84.27	83.99

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年11月期第3四半期	54,955	17,705	32.2	574.00
20年11月期	50,982	16,079	31.5	520.19

(参考) 自己資本 21年11月期第3四半期 17,705百万円 20年11月期 16,079百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	12.00	—	13.00	25.00
21年11月期	—	15.00	—		
21年11月期(予想)				15.00	30.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,700	27.7	6,000	15.9	5,900	8.4	3,600	4.6	116.71

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 一社 (社名 ) 除外 1社 (社名 テイコクメディックス株式会社 )  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第3四半期	31,204,917株	20年11月期	31,204,917株
② 期末自己株式数	21年11月期第3四半期	359,696株	20年11月期	294,084株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第3四半期	30,847,432株	20年11月期第3四半期	30,759,914株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2)当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 個別業績予想の修正

平成21年度11月期の個別業績予想 (平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,400	30.6	5,300	16.5	5,100	16.1	2,850	1.8	92.40

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年後半に始まった急速な世界経済減速の影響を受けた企業収益の大幅減少及び雇用情勢の急速な悪化が見られました。一方、政府による数次の補正予算による景気刺激策もあり、総じて景気悪化のテンポが緩やかになってきてはいるものの、依然個人消費は低迷しており将来の不安が払拭できない状況が続いております。

医薬品業界におきましては、平成20年4月に実施されたジェネリック医薬品の使用促進策である処方せん様式の再変更や診療報酬改定による後発医薬品調剤体制加算などの制度変更の実施が図られておりますが、制度変更によるジェネリック医薬品の拡大スピードは緩やかで低調に進んでいます。

当社におきましては、ジェネリック医薬品の品質・生産能力・生産性の向上を目的として富山県滑川市にある滑川第一工場に大型設備投資を行い、平成22年4月稼働にむけて順調に工事を進めております。

また、グループ全体の生産効率をさらに高めるために、生産子会社でありましたマルコ製薬株式会社(愛知県春日井市)・オリエンタル薬品工業株式会社(山形県天童市)・テイクメディックス株式会社(埼玉県さいたま市)の3社を平成21年6月1日に合併により統合し、合併後の存続会社の商号を「日医工ファーマ株式会社」として発足させております。

さらに、ジェネリック医薬品の市場拡大に伴い医薬品原体の品質に対する要望が高まってきていることから、医薬品原体の製造販売を行う事業会社としてアクティブファーマ株式会社を平成21年6月5日に三谷産業株式会社(石川県金沢市)と共同出資により設立いたしました。なお、アクティブファーマ株式会社は、平成21年7月27日には医薬品原体の製造販売を行う相模化成工業株式会社(東京都町田市)の全株式を取得し子会社としております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が401億64百万円、営業利益が46億81百万円、経常利益が46億45百万円、四半期純利益は26億59百万円と順調な成果を上げることができました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における総資産は、549億55百万円となり、前連結会計年度末比39億72百万円の増加となりました。その主な要因は、売上増加に伴う棚卸資産の増加24億11百万円や滑川第一工場の設備投資を主とした有形固定資産の増加22億2百万円であります。

負債につきましては、372億50百万円となり、前連結会計年度末比23億47百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金の増加34億88百万円であります。

純資産につきましては、177億5百万円となり、前連結会計年度末比16億25百万円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、当第3四半期連結累計期間において26億89百万円の収入超過となりました。これは棚卸資産の増加が24億11百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益42億7百万円の計上や減価償却費の計上が13億7百万円あったことなどによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、当第3四半期連結累計期間において38億75百万円の支出超過となりました。これは滑川第一工場の設備投資を主とした有形固定資産の取得による支出が31億85百万円あったことなどによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、当第3四半期連結累計期間において設備投資に伴う借入増もあり14億92百万円の収入超過となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円増加し、8億50百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年までに後発医薬品の数量シェアを30%以上にするという平成19年6月の閣議決定を契機として、ジェネリック医薬品の使用促進策がそれまで以上に推し進められてきておりますが、現状、ジェネリック医薬品全体の拡大スピードが当初期待されたものに比べやや低調な推移となっております。

このような中、当社として積極的な営業を展開してきた結果、平成21年11月期第3四半期の連結業績におきましては前年同期に比べ大幅な売上増加により増収増益を果たしました。ただし、平成21年11月期の通期予想につきましては、平成21年4月7日に発表いたしました数値を、通期の売上高を547億円(平成21年4月7日公表比23億円減)、営業利益を60億円(平成21年4月7日公表比10億円減)、経常利益を59億円(平成21年4月7日公表比9億円減)にそれぞれ修正いたします。

なお、個別業績予想についても同様の理由により修正いたします。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成20年12月1日開催の当社取締役会決議に基づき、当社の連結子会社でありましたマルコ製薬株式会社は、同じく連結子会社でありましたオリエンタル薬品工業株式会社及びテイコクメディックス株式会社を、平成21年6月1日をもって合併により統合し、合併後の存続会社の商号を日医工ファーマ株式会社といたしております。なお、日医工ファーマ株式会社は特定子会社に該当しております。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### 簡便な会計処理

###### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産につきましては、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

###### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成20年12月26日改正 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成20年12月26日改正 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### ② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

###### 棚卸資産

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、本会計基準を期首在庫の評価から適用したとみなし、期首在庫に含まれる変更差額を「たな卸資産評価損」として特別損失に384,510千円計上しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は96,292千円増加し、税金等調整前四半期純利益は288,217千円減少しております。

###### ③ リース取引に関する会計基準の変更

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月30日改正 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月30日改正 企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。なお、リース取引開始日がリース会計適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

###### (追加情報)

###### 有形固定資産の耐用年数の変更

平成20年度の法人税法改正を契機に、当社及び連結子会社は機械設備について第1四半期連結会計期間より耐用年数の変更を行っております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益が71,420千円、営業利益及び経常利益が69,616千円、税金等調整前四半期純利益が69,745千円それぞれ増加しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,373,548	1,069,899
受取手形及び売掛金	15,672,837	17,309,599
有価証券	1,666	666
商品及び製品	9,769,903	8,930,847
仕掛品	2,143,477	1,916,461
原材料及び貯蔵品	3,696,163	2,350,801
その他	1,984,862	1,619,816
貸倒引当金	△411,000	△415,561
流動資産合計	34,231,459	32,782,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,054,757	5,354,713
機械装置及び運搬具（純額）	2,047,676	2,579,223
土地	3,414,764	3,416,059
建設仮勘定	4,675,826	1,694,893
その他（純額）	395,819	341,920
有形固定資産合計	15,588,844	13,386,810
無形固定資産		
のれん	993,979	963,771
その他	1,439,297	1,594,045
無形固定資産合計	2,433,276	2,557,816
投資その他の資産		
投資有価証券	1,587,182	1,136,419
その他	1,192,350	1,200,533
貸倒引当金	△77,338	△81,232
投資その他の資産合計	2,702,195	2,255,720
固定資産合計	20,724,316	18,200,347
資産合計	54,955,775	50,982,877

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,249,985	10,128,210
短期借入金	11,753,026	13,247,336
1年内返済予定の長期借入金	1,433,830	892,738
未払法人税等	732,632	1,746,000
返品調整引当金	38,000	56,900
賞与引当金	344,353	—
役員賞与引当金	—	27,500
その他	1,764,242	2,376,568
流動負債合計	27,316,070	28,475,255
固定負債		
長期借入金	6,383,210	2,894,783
退職給付引当金	2,550,441	2,515,752
その他	1,000,743	1,017,578
固定負債合計	9,934,394	6,428,113
負債合計	37,250,465	34,903,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,064,257	3,064,257
資本剰余金	1,837,737	1,837,092
利益剰余金	12,914,815	11,118,970
自己株式	△423,592	△255,341
株主資本合計	17,393,217	15,764,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,265	49,973
土地再評価差額金	263,826	264,556
評価・換算差額等合計	312,092	314,529
純資産合計	17,705,310	16,079,508
負債純資産合計	54,955,775	50,982,877

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)
売上高	40,164,773
売上原価	22,024,963
売上総利益	18,139,810
返品調整引当金戻入額	18,900
差引売上総利益	18,158,710
販売費及び一般管理費	13,476,827
営業利益	4,681,883
営業外収益	
受取利息	2,146
受取配当金	15,196
負ののれん償却額	172,341
共同開発費用分担金	100,592
その他	88,874
営業外収益合計	379,152
営業外費用	
支払利息	213,088
手形売却損	70,220
売上債権売却損	6,487
その他	125,890
営業外費用合計	415,686
経常利益	4,645,348
特別利益	
固定資産売却益	2,432
貸倒引当金戻入額	8,262
その他	374
特別利益合計	11,069
特別損失	
たな卸資産評価損	384,510
固定資産処分損	17,945
減損損失	1,295
投資有価証券評価損	5,355
工場休止関連費用	31,448
その他	8,428
特別損失合計	448,983
税金等調整前四半期純利益	4,207,434
法人税等	1,547,841
四半期純利益	2,659,593



(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)	
売上高	13,488,323
売上原価	7,385,516
売上総利益	6,102,807
返品調整引当金戻入額	2,429
差引売上総利益	6,105,236
販売費及び一般管理費	4,534,694
営業利益	1,570,541
営業外収益	
受取利息	951
受取配当金	11,121
負ののれん償却額	57,447
共同開発費用分担金	40,046
その他	19,133
営業外収益合計	128,700
営業外費用	
支払利息	72,351
手形売却損	22,003
売上債権売却損	6,487
その他	35,989
営業外費用合計	136,831
経常利益	1,562,410
特別利益	
貸倒引当金戻入額	217
特別利益合計	217
特別損失	
固定資産処分損	811
投資有価証券評価損	1,042
工場休止関連費用	10,442
その他	2,300
特別損失合計	14,596
税金等調整前四半期純利益	1,548,032
法人税等	510,665
四半期純利益	1,037,367

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年12月1日  
至 平成21年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	4,207,434
減価償却費	1,307,854
減損損失	1,295
のれん償却額	142,133
負ののれん償却額	△172,341
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8,455
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34,689
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△18,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	344,353
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,500
受取利息及び受取配当金	△17,343
支払利息	213,088
固定資産売却損益 (△は益)	△2,432
固定資産処分損益 (△は益)	17,945
投資有価証券評価損益 (△は益)	5,355
売上債権の増減額 (△は増加)	1,637,860
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,411,433
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,121,774
未払費用の増減額 (△は減少)	△598,733
その他	△442,841
小計	5,333,802
利息及び配当金の受取額	17,376
利息の支払額	△198,017
法人税等の支払額	△2,463,587
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,689,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△15,000
定期預金の払戻による収入	18,000
有価証券の売却による収入	666
有形固定資産の取得による支出	△3,185,572
有形固定資産の売却による収入	2,370
無形固定資産の取得による支出	△105,417
無形固定資産の売却による収入	158,000
投資有価証券の取得による支出	△469,583
貸付けによる支出	△254,408
貸付金の回収による収入	632
その他	△25,448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,875,760

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年12月1日  
至 平成21年8月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,494,309
長期借入れによる収入	4,750,000
長期借入金の返済による支出	△720,481
自己株式の取得による支出	△188,330
自己株式の売却による収入	304
ストックオプションの行使による収入	20,420
リース債務の返済による支出	△8,893
配当金の支払額	△865,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,492,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	306,617
現金及び現金同等物の期首残高	544,367
現金及び現金同等物の四半期末残高	850,984

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）

単一セグメント（医薬品事業）のため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結会計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）

在外子会社等がないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結会計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年12月1日 至平成21年8月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年12月1日 至 平成20年8月31日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	30,480,074	100.0
II 売上原価	15,799,469	51.8
売上総利益	14,680,604	48.2
返品調整引当金戻入差額	1,540	0.0
差引売上総利益	14,682,144	48.2
III 販売費及び一般管理費	10,513,594	34.5
営業利益	4,168,550	13.7
IV 営業外収益	517,385	1.7
V 営業外費用	215,003	0.7
経常利益	4,470,932	14.7
VI 特別利益	25,492	0.0
VII 特別損失	279,144	0.9
税金等調整前四半期純利益	4,217,280	13.8
税金費用	1,621,998	5.3
少数株主利益	3,019	0.0
四半期純利益	2,592,262	8.5

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年12月1日 至平成20年8月31日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	4,217,280
減価償却費	746,349
減損損失	53,027
のれん償却額	66,319
負ののれん償却額	△172,341
貸倒引当金の増減額(減少:△)	128,577
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△247,745
返品調整引当金の増減額(減少:△)	△1,540
役員賞与引当金の増減額(減少:△)	△7,500
受取利息及び受取配当金	△14,164
支払利息	130,237
固定資産売却益	△6,113
固定資産処分損	115,971
売上債権の増減額(増加:△)	△2,100,483
たな卸資産の増減額(増加:△)	△3,344,321
仕入債務の増減額(減少:△)	1,360,653
その他	△665,047
小計	259,158
利息及び配当金の受取額	13,950
利息の支払額	△114,690
法人税等の支払額	△720,866
営業活動によるキャッシュ・フロー	△562,447
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△36,032
定期預金の払戻による収入	30,000
有価証券の売却による収入	666
投資有価証券の取得による支出	△53,898
関係会社株式の取得による支出	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△2,553,338
有形固定資産の売却による収入	232,069
無形固定資産の取得による支出	△1,558,580
無形固定資産の売却による収入	1,731,650
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,219,525
貸付けによる支出	△2,992
貸付金の回収による収入	2,177
その他	△42,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,570,712
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(減少:△)	7,439,398
長期借入金の返済による支出	△744,991
自己株式の取得による支出	△2,849
自己株式の売却による収入	397
ストック・オプションの権利行使による収入	153,484
配当金の支払額	△888,072
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,957,367
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△2
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)</b>	824,204
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	288,558
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	1,112,763